

M17a 次期太陽観測衛星 Solar-C EUVST を想定した電離非平衡プラズマ診断

今田晋亮（名古屋大学）、Solar-C EUVST 国際ワーキンググループ

本講演では、次世代太陽観測衛星 Solar-C EUVST における重要な視点の一つである電離非平衡プラズマの診断能力について考察する。「ひので」衛星の観測が始まる以前は、太陽コロナ中ではプラズマ同士が十分に衝突するため、地球磁気圏尾部のような無衝突プラズマ環境とは違い、電離状態はほとんどの場合において平衡に達していると考えられてきた。「ひので」衛星の観測が始まり、これまでできなかった短い時間スケールの現象を議論できるようになった。その結果、電離が平衡でないプラズマのダイナミクスを診断する必要があるが出てきた。そこで、これまでの「ひので」観測を用いて、どこまで電離非平衡プラズマを診断できるか、中でも大規模なフレア観測を用いて、再度検証する事を試みる。さらに、Solar-C EUVST のスペックで観測した場合、どの程度向上するか、実際に計画されている時間分解能、波長範囲を用いて議論する。